

中村設計新聞

第二十九号

五月十九日(土)快晴
 今月の土曜研修は「信楽陶苑たぬき村」で
 陶芸を体験してきました。

○はじめに

古代オリンピックでは詩・絵画・彫刻等、芸術種目の競技も行われていたそうです。そこで今月の研修は『中村設計芸術オリンピック』と題し、信楽陶苑たぬき村で陶芸を体験してきました。たぬき村では一面のたぬき達がお出迎え。登り窯見学の後、昼食にたぬき鍋御膳を頂き、たぬきづくしの一日となりました。

今回は手びねりでの制作という事で、所員みんな粘土をこねること1時間…個性豊かな作品達が出来上がりました。



登り窯正面 | たぬき鍋御膳



たぬきは金の精霊といわれています。オリンピックでは日本に金メダルを是非!



何処を見ても たぬき、タヌキ、狸

○陶芸体験

一人粘土八百グラム内で一作品、各自好きなテーマで制作し、最後には陶芸教室の先生に評価をして頂きました。焼き上がり後の所員による投票によって、いよいよ一年を通しての中村設計オリンピック総合金メダリストが決まります!



思い思いに制作中...



レポート

陶芸を体験して



最後の最後まで気はぬけません。

陶芸(手びねり)は今回で二回目。一回目も同じたぬき村での体験でした。粘土八百グラムを自分の考えた形につくり上げていきます。今回はお皿! こども二人がケンカしない様、二つの丸をつなぎ合せてみました。できあがりを楽しみ!喜んでくれるかなあ。所員全員が黙々と粘土をこね、様々な形になっていく様子を見ていて楽しかったです。やっぱりモノづくりが好きだなんだなあ!と改めて感じた一日でした。

伊藤 由美子

陶芸作品発表

「コーヒードリッパー」



岩田 信一

「平皿」



榊田 武典

「お菓子皿」



伊藤 由美子

「灰皿」



井澤 弘隆

「卵かけ用器」



林 光明

「ティーカップ」



大村 周平

「三角スケール入れ」



ウラ オモチ 西村 亮人

「長靴型小物入れ」



滝根 世斎

金メダルは誰の手に?

陶芸教室の先生が選んだベストユニーク賞

○まとめ

後日所員に行ったアンケートでは、「次は大皿作りや、ろくる回しに挑戦したい」という意欲的な意見が目立ちました。粘土をこねて、器を形作っていく過程は、最もシンプルなモノづくりの在り方なのかもしれません。焼き上がりが楽しみです。



たぬき村名物「大狸」の前で記念撮影

○ゴーヤカーテン



いよいよ梅雨入りし、ムシムシとした湿気のまわりつく季節がやってきました。雨の恵みを受けて、ゴーヤはすくすく成長中です。夏はすぐそこ。熱中症に気をつけて、省エネな夏を目指しましょう。



2012/06/16現在